

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 金島 弘

副会長 宮内 秀章

幹事 櫻井 公恵

会計 常世田 祐一

2018-2019年度 RI会長テーマ

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

RI会長 バリー・ラシン



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第3010号(2018年9月26日発行)

今週のプログラム

「夜間移動例会・観月会」

点鐘 18時 太陽の里



前回例会報告(9月19日)

点鐘：金島 弘会長

ロータリーソング：それでこそロータリー

四つのテスト唱和

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



本日のソングリーダー
大岩 將道 会員



ビジター紹介：

ひびき連合会事務局長 金島 智明様(長塚東)

会計 金島 聖美様
(しおさい会)

会長挨拶

9月16日(日)13時からTKPガーデンシティ千葉で地区奉仕プロジェクトセミナーが行われて、石毛

充 職業奉仕委員長、大里忠弘 国際奉仕委員長、小

林昭弘 青少年奉仕委員長と私とで参加してきました。

今月の趣味の話はカメラです。私が買った初めてのカメラは、昭和44年、ローソクの火でも写りますのCMで有名なヤシカエレクト35カメラです。当時の私は17歳、年季奉公中で日給1000円くらいでしたが、3万円位でそのカメラを買いました。

20歳で年季が明け職人となり独り立ちした頃、ニコマート一眼レフのカメラと、300mmの望遠レンズを買いました。銚子商業硬式野球部を追いかけ、仕事そっちのけで写真を撮りに行き、今度は当時の自宅の2階に暗室を作って、全紙まで引き伸ばして現像し楽しんでいました。もちろんモノクロです。私の記憶ではカラー写真現



第2790地区
ガバナー 橋岡久太郎 (佐倉中央RC)

広報・会報委員会
委員長 永澤 信 副委員長 島田洋二郎
委員 大岩 將道

像プリントは、昭和45年、銚子市体育館前の永田写真館で、



手札サイズ1枚100円したと思います。職人の日給が3500円位の時です。

私にも写せますの8mmカメラの時代に、新発売のチン同録8mmカメラを買って、昭和49年10月に銚子8ミリクラブが発足し、私は翌年11月に入会させて頂きました。堺敬生さんにご指導を仰ぎ、主にスポーツやお祭りを撮影して、時々公開映写会にも出品しました。

カメラは日進月歩で、私は5台買い替えましたが、8mmフィルムは無くなってしまいました。フィルムは1本が3分15秒しか撮れず、現像すると1本3500円位かかりました。出来上がり映写してみても、ピンボケや露出不足が多く、処分されるものが非常に多くありました。フィルムからビデオカメラ、ミニテープ、デジタルテープ、MD、DVDと、フィルムよりもさらに日進月歩です。私の今のビデオカメラは6台目で、映写機付きなので現像に出さずとも、部屋を暗くして白い壁に映写して映像を見ることができます。

銚子8ミリクラブは銚子映像クラブと改名して、公開映写会は休会状態ですが、月に1度イオンで意見交流会を開いています。今年度の通算3000回例会と地区補助金を使って、10月14日(日)に行われるロータリー憩いの森事業を動画に編集して、皆様に見て頂きたいと思います。

幹事報告

【週報拝受】鹿島臨海RC

小見川RC

【活動計画書拝受】旭RC

1. ハイライトよねやま222

…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2. 敬老祝賀会お礼状

…さざんか園

3. 千葉科学大学留学生別科生との研修旅行のご案内

…銚子市国際交流協会

【例会変更】

成田空港南RC

10月11日(木) 休会

25日(木) 28日地区大会に振替休会



会員の記念日

結婚記念日

佐藤 直子会員(9月15日)

松本 恭一会員(9月19日)

ニコニコBOX

◇金島 弘会長

長男夫婦あつかましく卓話させて頂きます。

◇青野 秀樹会員

社屋兼自宅が完成。先週木曜から引越して、住みはじめました。引越して不要なものは処分でき、又、息子夫婦、孫の家で同居もして楽しい10ヶ月でしたが、自宅で過ごす日々は良いものです。



ニコニコBOX 紹介
村田親睦委員

卓 話

ドイツでも愛された

日本の民謡「銚子正調大漁節」

ひびき連合会 事務局長 金島 智明様
会 計 金島 聖美様



ひびき連合会はCIOFFという国際NGO組織に所属しています。

CIOFFでは、民俗文化芸能の伝承と振興活動を通じて、国際交流の促進と、世界の友好、平和への貢献を目的として活動しています。ひびき連合会には毎年何通もの招待状が各国から送られてきており、今までには、中国、韓国、フランス、アメリカなどへ行き公演しております。今年は8月2日から5日間ドイツに滞在し、銚子民謡を披露してきました。

1日目と5日目は移動、2日目は観光、3、4日目がフェスティバル本番という行程でした。

ドイツの夏は日の出ている時間が長いので、夕食後も何時間も明るく、中庭では夜な夜な宴が繰り広げられました。私達ひびき会が大漁節を披露し、参加を促すと他のグループのメンバーもすぐに踊りを真似して一緒に踊ってくれました。お祭り好きな人たちの集まりという事もあり、見知らぬ曲でもすぐに私たちの音楽を踊ってくれたので嬉しかったです。

フェスティバル初日、海外のパフォーマンスの先陣を切ったのは、日本の鳴り物でした。来独前より現地新聞で紹介されるなど、まさに鳴り物入りでの舞台となりました。

最終日のフェスティバルの大トリを任されたのも私たち日本でした。何日かの間に他のグループの人達ととても仲良くなり、彼らも私たちの演奏を心待ちにしてくれていました。1曲が

終わるごとに会場中から歓声をもらい、全曲が終わると舞台と会場の一体感は包まれました。ステージを降りると、「あなた達の演奏は短すぎる」と惜しむ声を頂いたりもしました。

この日が最後の夜だったこともあり、中庭での宴は大盛り上がりでした。私は、ラパヌイの踊りを教わりたいと話すと、ダンサー達は丁寧に教えてくれました。すると、彼女たちからも「あなた達のダンスを教えて」と言われました。私たちは喜んで大漁節を教えました。拙い英語でしたが、これは漁師の歌であることを伝えたり、波を表現しながら手を動かすことを教えたりしました。最後には、みんなで輪になって踊り、とても喜ばれ、私たちもとても楽しい一体感に包まれました。

音楽は、国を超えて繋がることができるのだという事を肌身で感じることができました。

毎年夏になると、各地で盆踊りが開催され、地域の高齢の方も、足が悪くなって輪で踊れなくなっても、手踊りで楽しんでいる姿が見られます。音楽や踊りは、国境、性別、年齢、身体の不自由、不自由関係なく楽しめるものです。銚子正調大漁節は国内国外かかわらず人気のある音楽ですが、まずは地元銚子の若い人々をはじめとし、人と人を繋げる力のあるこの歌を広め、伝承していきたいと思います。



